

一般社団法人 北海道環境保全技術協会 主催
平成 28 年度第 2 回環境保全技術セミナー

日時：平成 29 年 2 月 3 日（金）、14 時 30 分～17 時 05 分
場所：かでの 2 7 820 研修室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

【セミナーの内容】

1. 『道環協 技術レポートNo.7 環境保全に役立つ新たな地すべり分類と対策工の留意点
- 自然由来砒素汚染岩の風化に伴う黄鉄鉱の挙動 - 』

【概要】 2010年の土壌汚染法改定により、大規模な頭部排土による地すべり抑制工（土地の形質の変更）を施工する場合、地すべり移動体や基岩中の有害元素について留意しなければならないこととなった。ここに紹介する新たな地すべり分類では、自然由来砒素汚染岩の可能性の高い熱水変質岩やそれからなる熱水変質帯が分類の条件として重視される。本技術レポートでは、砒素汚染の原因となる黄鉄鉱を含む泥質岩や熱水変質岩の風化による黄鉄鉱の挙動に注目し、具体的な地すべりの観察事例に基づいて地すべり抑制工（排土工）の留意点を提起した。

【発表者】 ランドスライド防止ワーキンググループ 前田 寛之 氏（札幌工科専門学校）
ランドスライド防止ワーキンググループ 内山 幸二 氏（有限会社アース企画技術顧問）

2. 『道環協 技術レポートNo.8 北海道における水中砒素の濃度分布
- 高濃度で検出される要因の究明 - 』

【概要】 水質ワーキンググループが取りまとめている技術レポートは、北海道における岩石・土壌・河川水・湖沼水・地下水・温泉の砒素データを収集し、河川水や地下水中の砒素が高濃度で検出される要因について考察したものである。現段階では、温泉水や金属鉱床等の自然的要因と我々の生活に関連する社会的要因が考えられたので概説する。

【発表者】 水質ワーキンググループ 板谷 利久 氏（株式会社シン技術コンサル河川砂防部環境保全室長）
水質ワーキンググループ 広田 知保 氏（株式会社アクアジオテクノ最高顧問）

【特別講演】

『西南北海道に分布する天然地質材料の重金属等吸着性能』

【概要】 天然地質材料の吸着層工法への利用可能性を探るため、西南北海道地域の土取場を中心に85箇所から試料を採取し、重金属等の吸着性能を評価した。その結果、16箇所の土取場で採取した試料が砒素・鉛・カドミウム等に対する高い吸着性能を示した。一方、セレンおよびふっ素の吸着性能は、極めて低い値であった。今後、天然地質材料の吸着性能等と工事現場で発生する掘削ブリの特性をマッチングできれば、天然地質材料を吸着層の材料として利用することが可能であり、それにより建設コスト軽減につながる可能性がある。

【講師】 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 地質研究所
地域地質部 地質情報グループ 主査（資源情報） 野呂田 晋 氏

